トキと自然の学習館便り

~ 2月の出来事~





へ~んしん!

繁殖期を迎える前のこの時期、トキたちは盛んに水浴びをしながら羽に色を付けていきます。 1月から 2月の羽色の移り変わりを見ていきましょう!

【1月初旬】



まだ曽笠つほどには 変化していません。

ってきました。



【2月初旬】



くわえた草 は、巣の 粉料にする のかな。





1覚初覚と比べると、 ずいぶん色付いたの がわかりますね!



トキの物の色荷け行動は 2歳を過ぎたころから始まります。成鳥になり、闇りにいる仲間に繁殖できることをアピールするためといわれています。また、体を保護色にして林の中でも首立たなくなることで、大事な字替て期に首身やが、ヒナを猛禽類などの天敵から苧るためともいわれています。まもなく、つがいは巣苔に章や小様を運び入れ、がを産むための巣づくりが始まります。

3羽おそろいでトキ団子?!

これは何でしょう?



見た曽は確かにトキですが、頭はどこ?片型がない?! 実は、これはトキが寝ている時の姿です。首をぐるっと後ろに回して、羽の間にクチバシを沈めています。片型は折りたたんで1本型で立っています。上の写真は正面から見たところですが、頭が見えず、まるで丸いお団子のようです。なぜこんな姿勢で寝ているのでしょうか?不思議です! 人間にとってはバランスがとりずらい体勢ですが、このような姿で寝る鳥は多いようです。 羽で覆われてない型やクチバシを羽の中に沈めて体温を保っているともいわれています。